

**製品名: PKC  $\alpha$  (リン酸化 Thr638) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe21077**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	ホスホ
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.2mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

**応用**

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:1000-1:4000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:77kD;Observed MW:77kD

**抗原情報**

遺伝子名	PRKCA
別名	PRKCA;PKCA;PRKACA;Protein kinase C alpha type;PKC-A;PKC-alpha
遺伝子 ID	5578.0
SwissProt ID	P17252
免疫原	標的タンパク質の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

**背景**

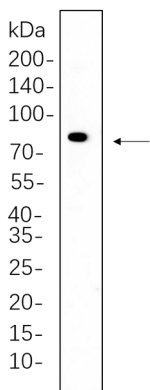
細胞局在:細胞質,細胞膜,膜周辺タンパク質,ミトコンドリア膜,膜周辺タンパク質,核.タンパク質キナーゼ C (PKC) は、カルシウムと

セカンドメッセンジャーのジアシルグリセロールによって活性化されるセリンおよびスレオニン特異的タンパク質キナーゼのファミリーです。PKC ファミリーのメンバーは、さまざまなタンパク質標的をリン酸化するため、多様な細胞シグナル伝達経路に関与していることが知られています。PKC ファミリーのメンバーは、腫瘍プロモーターのクラスであるホルボールエステルの主要な受容体としても機能します。PKC ファミリーの各メンバーは、特定の発現プロファイルを持ち、細胞内で異なる役割を果たしていると考えられています。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、PKC ファミリーのメンバーの1つです。このキナーゼは、細胞接着、細胞形質転換、細胞周期チェックポイント、細胞容積制御など、さまざまな細胞プロセスで役割を果たすことが報告されています。マウスのノックアウト研究では、このキナーゼが心筋細胞における心臓収縮力と Ca(2+)処理の基本的な調節因子である可能性が示唆されている。[RefSeq 提供、7月2日]

## 研究分野

-

## 画像データ



C2C12 全細胞ライセートを 10% SDS-PAGE で分離し、膜を PKC  $\alpha$  (リン酸化 Thr638) ウサギモノクローナル抗体 (1:1000) でプロットした。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG (H + L) 抗体を用いた。